

「世界三大〇〇」シリーズ第5弾

「世界三大〇〇」シリーズ第5弾は、「世界三大瀑布」の話です。「世界三大瀑布」とは、「イグアスの滝」、「ヴィクトリアの滝」、「ナイアガラの滝」のことです。「ナイアガラの滝」については、鹿沼の花火大会の最後に黒川の河川敷で行われる仕掛け花火しか見たことがありません。「世界三大瀑布」の一つでもいので実物を見たいものです。

<イグアスの滝>南米大陸のアルゼンチンとブラジルの二国にまたがる世界最大の滝。イグアスとは先住民の言葉で「大なる水」という意味。季節で変化する水量により、150から300の瀑布が出現。最大の瀑布である「悪魔の喉笛」は高さ82m、幅150mのU字型で、長さ700m。100年で30cmずつ上流へ後退。



<ヴィクトリアの滝>アフリカ南部のジンバブエ共和国とザンビア共和国の国境にある滝。1989年、世界遺産登録。ザンベジ川の途中にあり、幅は1708m、落差は最も高い中央付近で108m、最も低い西の端でも80m。水が少ない時期には、滝の淵に、実際に人が入ることができるDevil's Poolという名前の天然プールが出現する。

<ナイアガラの滝>エリー湖からオンタリオ湖に流れるナイアガラ川にあり、カナダのオンタリオ州とアメリカのニューヨーク州とを分ける国境になっている。ゴート島によって、カナダ側の国境を挟んだカナダ滝とアメリカ側のアメリカ滝からなる。アメリカ側にはさらにルナ島を挟んでフライドパベル滝がある。



名字特集⑥

「第28号」に続く「名字特集」の第6弾です。今回は石偏の漢字一文字の難読名字を集めてみました。いくつか読めるでしょうか。名字の読み方、全国順位、全国人数は「名字由来net」から引用させていただきました。

名字	読み方	全国順位	全国人数
石	いし・せき	6,729位	約1,400人
砒	いしばし	41,961位	約60人
砂	すな・まさご	15,943位	約340人
研	とぎ・けん・とぐ	28,688位	約120人
磴	いしばし・いしだん・いしはし・いしわたり	26,579位	約140人
硯	すずり	17,259位	約290人
砿	はぎま・さこ	4,953位	約2,200人
碇	いかり・てい	3,285位	約3,900人
碓	うす・きぬた	76,137位	約10人
碓	きぬた	74,235位	約10人
碧	みどり	81,420位	約10人
碩	せき	12,933位	約480人
磧	なめら・なめり	92,211位	約10人
磊	こいし	52,800位	約30人
磬	いわお・ばん	49,525位	約40人
磧	せき	34,585位	約80人
磨	みがき・とぎ・まろ	32,229位	約100人
礪	いそ	1,391位	約12,100人
礪	いしづえ	19,938位	約230人
礪	いそ・いわお・ぎ・さが	6,310位	約1,500人

※「石」が三つで「こいし」さんは初めて知りました。
 ※「石橋」さんではない「砒」さんや「磴」さんがいるのは驚きです。
 ※「硯(すずり)」さんがいるなら、「筆(ふで)」さんや「墨(すみ)」さんもいると思うのですが、どうでしょうか。「名字由来net」で検索してみると・・・思ったとおり、やはりいました。「筆(ふで)」さんは24,035位・約160人、「墨(すみ)」さんは7,944位・約1,100人でした。

柘中・柘高同窓生特集③

柘中・柘高同窓生特集の第3弾は、平成27年9月18日に柘高の創立120周年記念の冠を付して開催された「第65回柘高音楽部演奏会」での声楽・ピアノ・書道のパフォーマンスをきっかけに活動を開始した荒井雄貴、新野見卓也、小杉卓氏の若き芸術家3名の先輩諸氏を紹介いたします。この3名は、来る9月24日(月)「秋分の日」の振替休日>に柘本市柘木文化会館で「『音と言葉の間』～音楽と書の協演～」を開催します。先輩諸氏のパフォーマンスを見に行こう。

<芸術分野>

氏名	荒井雄貴	卒業年・回	2003年・104回
出身大学等	東京音楽大学大学院修士課程(声楽)		
主な業績等	*小山市出身 *柘高時代は音楽部に所属。管弦楽団ではコンサートマスター、合唱団ではバリトンを務める *2011年よりイタリアに渡り、パルマ国立音楽院で声楽を学ぶ。卒業演奏において最高得点を得て終了 *川上洋次、伊達英二、Ilia Aramayo、Lorenzo Saccomani、Giuliana Panzaの各氏に師事 *ドイツのヴェーゼンシュタットにて「コジ・ファン・トゥッテ」グリエルモ役、イタリアのサルソマッジョレ・テルメ、テアトロヌオーヴォ劇場にて「リゴレット」チェプラーノ役、イタリアのフォンタネラート、ロッカにて「ジャンニ・スキッキ」ベット役を演じる *栃木県オペラ協会「フィガロの結婚」でタイトルロール、「蝶々夫人」でボンゾ、ヤマドリ役を好演し、創作小山市民オペラ「小山物語」で田上慎介、二助の2役を演じる *小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクト、OMFセイジ・オザワ松本フェスティバルに参加 *オペラの字幕翻訳家としても活動		
氏名	新野見卓也	卒業年・回	2007年・108回
出身大学等	一橋大学大学院言語社会研究科修士課程		
主な業績等	*足利市出身 *柘高時代は音楽部に所属。合唱団の団長、ピアノ伴奏、セカンドテノールを務める *ハンガリー政府Stipendium Hungaricum奨学生として、2014年よりブダペストにあるハンガリー国立リスト音楽院に在席 *ピアノを原恵美子、原愛子、玉置善己、厚地和之、小和田佳苗、グヤーシュ・イシュトヴァーン、レーティ・バラージュの各氏に、室内楽をコヴァーツ・ペーテル、ローナセーキ・タマーシュ、メズー・ペーテルの各氏に、オルガンを菅哲也、岩崎真実子の各氏に師事 *第31回ビティナピアノコンペティションYカテゴリー全国決勝大会第2位、第9回大阪国際音楽コンクールヴィルトーソコース第3位、第21回日本クラシック音楽コンクール全国大会ピアノ部門一般男子の部第3位		

氏名	小杉卓	卒業年・回	2009年・110回
出身大学等	国際基督教大学教養学部		
主な業績等	*鹿沼市(旧栗野町)出身 *柘高時代は音楽部と書道部に所属。音楽部では管弦楽団の団長、オーボエを務める *小学校入学と同時に祖母の書道教室に通い、中学校、高校で茅島貴堂氏、鶴見和夫氏に師事 *大学卒業後、日本マイクロソフト(株)に就職 *2011年、東日本大震災後のボランティア活動中に会った方々のために制作した作品をきっかけに書家を志す *2011年、大学在学中にフランスのパリ、オーストリアのウィーンで大学等で書道を披露 *2016年、ムジカプロムナード13回演奏会でオーケストラと協奏 *2017年、イタリアのヴェネツィア大学での講演・パフォーマンス *2018年、リスボンにあるオリエント美術館での講演・パフォーマンス *東京とパリを拠点に国内外で活動 *人の想いや自然をテーマにした書を多く制作		

氏名	小杉卓	卒業年・回	2009年・110回
出身大学等	国際基督教大学教養学部		
主な業績等	*鹿沼市(旧栗野町)出身 *柘高時代は音楽部と書道部に所属。音楽部では管弦楽団の団長、オーボエを務める *小学校入学と同時に祖母の書道教室に通い、中学校、高校で茅島貴堂氏、鶴見和夫氏に師事 *大学卒業後、日本マイクロソフト(株)に就職 *2011年、東日本大震災後のボランティア活動中に会った方々のために制作した作品をきっかけに書家を志す *2011年、大学在学中にフランスのパリ、オーストリアのウィーンで大学等で書道を披露 *2016年、ムジカプロムナード13回演奏会でオーケストラと協奏 *2017年、イタリアのヴェネツィア大学での講演・パフォーマンス *2018年、リスボンにあるオリエント美術館での講演・パフォーマンス *東京とパリを拠点に国内外で活動 *人の想いや自然をテーマにした書を多く制作		